



菊谷進一議員
(二十一世紀の会)



市民の安全安心のための病院を

問 国や県の方針は、病院の機能を集中するというのが一つの手法。県の医事課もベッド数を減らさないといいけないと。老健が増え、病院のベッド数も余っている現実を見ると、うちの病院が単独でやるよりは、近隣と合併していかないといいけないのは事実。県から指導をいただいてフラットになった状態で、改めて近隣の町と話すタイミングが来たと思うが、いかがか。

答 「市長」指摘のとおり、フラットで考えるべきだということではあるが、これまでの説明どおり、駅南側に建設を考えていきたいと思ってる。

問 やりたいから急いでやると言ってもお金がないとできない。財源も、国と県の協力を仰がないといけない。県が集約という考えを持っている中で、どうして駅前に固執するのか。踏切が遮断され、災害時に止まったらどうするのか。救急の場合1分、2分が物を言つ。地権者に反対者、誰もいないのか。

答 「市長」これまでの説明どおり、地権者の皆様に一軒一軒丁寧に対応していきたいと考えている。デリケートな問題であるので、ここでの発言をこの程度にしたい。

問 フラットに考えて、再構築するのが市長たる立場。市民の安全・安心や財政負担をかけたために、改めてよく考え

ていただきたいと思う。3月以降、旭中央病院とどういふ話をしているのか。

答 「市長」事務レベルの話は、これまでしてきたところだが、この地域にとって必要な医療というものを考え、様々なデータ等を検証し、本当にゼロベースから検討していこうということで、これからスタートするところである。

問 ゼロベースということは、もう一回やり直しということ。旭中央病院がなければ、建て直しても立ち行かないのは事実。ゼロからやるのであれば再考して、市民の安全・安心のための病院を目指していきたい。

答 「市長」様々な検討は、これからもさせていきたい。

中継施設の解体・撤去費用について

問 多古町と横芝光町に1億2,000万円の解体代金の負担をしてくれと言いに行くのは、どういふ見か。

答 「市長」組合としては、この解体撤去費用を含む中継施設整備として、組合を事業主体として実施することは決定しているが、解体撤去の費用負担については、整理がされていない。

問 そんな認識だから、銚子市に言われて横芝光町と多古町にお願いに行くようになる。太田市長の市政を継承すると言った。令和3年の議会で太田市長が「解体代金は広域で持つ」と明言したのに、何で弱腰になるのか。重要な付き合いをしている横芝光町と多古町に失礼だと思う。

答 「市長」昨年度、解体・撤去に着手できず、計画が1年後ろ倒しになっていることは、非常に重く受け止めている。

東総地区広域市町村圏事務組合へ決議書を送付

6月定例会において、議員から動議が提出され、次の決議について賛成全員で可決しました。

東総地区広域市町村圏事務組合中継施設整備事業に関する決議

1 組合の事業である、匝瑳中継施設における旧松山清掃工場の解体及び中継施設整備に係る費用、循環型社会形成推進交付金の申請を直ちにを行うこと。

記

- 2 組合の管理者は銚子市長の意見を聞かず、前の議会で推進すると明言している以上、直ちに循環型社会形成推進交付金の申請と事業を進めること。
- 3 管理者は匝瑳中継施設の施設整備について、基本計画通りとし、変更はしないこと。
- 4 管理者及び副管理者は、議会の決議で決定している事業内容を勝手に管理者同士で話し合いをし、変更をしないこと。
- 5 この事業が令和5年度において、循環型社会形成推進交付金申請または工事の着手がなされなかった場合は匝瑳市が組合に加入している意味が存在しない。しかるに直ちに事業を進めること。
- 6 匝瑳中継施設についての費用は、計画通り組合で行い、決定している負担割合で行うこと。
- 7 旧銚子市清掃センターの解体工事費の不足金(未交付分)については、組合で一切負担しないこと。

以上、決議する。

議員から提出され可決した決議

6月定例会で可決した決議は、次のとおりです。

- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
- 国における2024年度教育予算拡充に関する意見書について

決議した意見書は、内閣総理大臣及び関係大臣へ送付しました。